

令和4年度（2022年度）修了式

今日3月24日は、一年間の締めくくりの日、修了式です。今日から4月10日の始業式までの約2週間、春休みに入ります。

この休みの間に「なりたい自分」になるための夢や目標、または「新しい学年での目標」を決めておいてください。

当たり前のことですが、「夢や希望、目標」は決めるだけでは達成できません。目標を達成するために大切なことは、毎日を振り返り、自分の行動をチェックすることです。そして、出来なかったことがあれば、なぜ出来なかったのかを考えてください。

目標の達成は簡単にはできません。うまくいかないことの連続かも知れません。「うまくいかない、もう無理」という途中で止めてしまうと、目標を達成することはできません。

今から目標を達成するために努力している宇宙ロケットの研究者の人々の話をします。

2週間前の3月7日、日本の新しい宇宙ロケット、H3ロケットが打ち上げられました。もともとは2月17日が打ち上げ予定だったのですが、補助エンジンに点火せず中止となりました。その後改良を加えて3月6日の打ち上げる予定をしていました。しかしこのときは、雷が発生するという天候のため、打ち上げを翌日に延期しました。そして迎えた3月7日、私たちの夢と希望を載せたH3ロケットは大空高く飛び立ちましたが、その後、第2段エンジンに点火せず、軌道から外れ、打ち上げは失敗に終わりました。

ここで諦めてしまうと、日本の新しいロケットは宇宙に飛び立つことはできません。今、研究者の方たちは、自分たちの研究を振り返るとともに、何が足りなかったかについて「知る」ことから再挑戦、再チャレンジを始めています。

研究者の人たちは知恵を出し合っています。みんなが知恵を出し合うから新しいアイデアが生まれるのです。「学習の四本柱」の「ともに生きることを学ぶ」ですね。

この新しい知恵やアイデアから研究者の人々は「失敗の原因」の答えを導きます。つまり、「知ることを学ぶ」のです。「失敗の原因」を知れば、失敗を防ぐ方法を知ることができます。みんなで知恵を出し合いながら新しい方法を考えます。そして、何度も実験を重ね、故障しないことを確かめます。研究者の皆さんは「為すことからの学び」を大切にしているのです。

「日本の宇宙開発・ロケット開発の父」と言われている糸川博士は「自分に出来ること」よりも「世の中が求めていること」に挑戦し続けた方が楽しい」とおっしゃっています。まさに「人間として生きることを学ぶ」大切な言葉ですね。

宇宙に飛び立った日本人宇宙飛行士は12人おられます。その方々の中から3人の方の言葉を皆さんに紹介します。

まず一人目は、若田光一さんの言葉「ひとの価値は努力の量で決まる」

二人目は、星出彰彦さんの言葉「夢を実現させるにはあきらめないこと」

三人目は、秋山豊寛さんの言葉「夢を捨てずに引き出しにしまっておけば、いつか必要になったときに、取り出すことができる」

ロケット開発の人だけではなく、世界中の人々が自分の夢や希望、目標を叶えるために努力をしています。皆さんもこの春休みに、「なりたい自分」になる夢や目標などを決め失敗を恐れずに挑戦してください。